

数字で見る多景地区の“今”

《世帯数や高齢化率 等》 出典／彦根市（平成28年1月末現在）

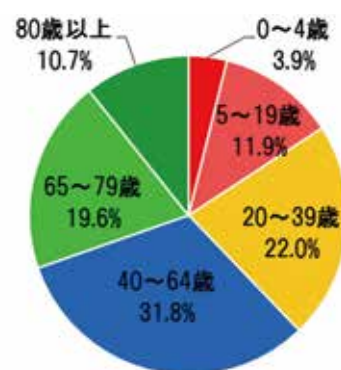


自治会名	八坂町	須越町	三津屋町	多景地区	彦根市
人 数	1,063人	586人	282人	1,931人	112,818人
世 帯 数	409世帯	219世帯	109世帯	737世帯	45,983世帯
高齢化率(65歳以上)	27.8%	30.7%	39.0%	30.3%	23.3%
高齢者世帯数	122世帯	66世帯	37世帯	225世帯	7,919世帯
1人暮らし高齢者数	58人	40人	23人	121人	5,741人

※世帯数にはアパート等を含みます。

《人口の構成》 出典／彦根市学区別5歳階級別人口統計表（平成28年1月末現在）※四捨五入の関係上100%にはなりません。

年 齢	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65～79歳	80歳以上	合計
人 数	75人	230人	425人	615人	379人	207人	1,931人
構 成 率	3.9%	11.9%	22.0%	31.8%	19.6%	10.7%	



八坂町	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65～79歳	80歳以上	合計
人 数	52人	125人	269人	321人	192人	104人	1,063人
構 成 率	4.9%	11.8%	25.3%	30.2%	18.1%	9.8%	

須越町	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65～79歳	80歳以上	合計
人 数	14人	79人	101人	212人	115人	65人	586人
構 成 率	2.4%	13.5%	17.2%	36.2%	19.6%	11.1%	

三津屋町	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65～79歳	80歳以上	合計
人 数	9人	26人	55人	82人	72人	38人	282人
構 成 率	3.2%	9.2%	19.5%	29.1%	25.5%	13.5%	

多景地区住民福祉活動計画

策 定：多景地区住民福祉懇談会

編集・発行：社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町 670 彦根市福祉センター別館 1 階

【で ん わ】 (0749)22-2821 【ファックス】 (0749)22-2841

【ホームページ】 <http://www.hikone-shakyo.or.jp>



←こちらから
HPをご覧
いただけ
ます

2016 年度>>>2019 年度

計画の期間

この計画は 2016 年度（平成 28 年度）から 2019 年度（平成 31 年度）の間で取り組むものです。

多景地区 住民福祉 活動計画

多景地区はこんなところ

多景地区とは、マザーレイク琵琶湖に浮かぶ多景島を望む八坂町・須越町・三津屋町の三町からなる地区であり、旧多景小学校の学区です。地区内には、滋賀県立大学もあります。

旧来からの「向こう三軒両隣」の意識が残っており隣近所のつながりがあることと併せて、自治会内のつながりや三町連合による三町のつながりもあります。福祉活動においては、各町単位でのより小さな規模での活動を展開していますが、近年、若者の転出により高齢化が一層進んでいることが課題となっています。



犬上川河口から望む多景島

策定までのあゆみ



←多景地区
福祉のまちづくりアンケート

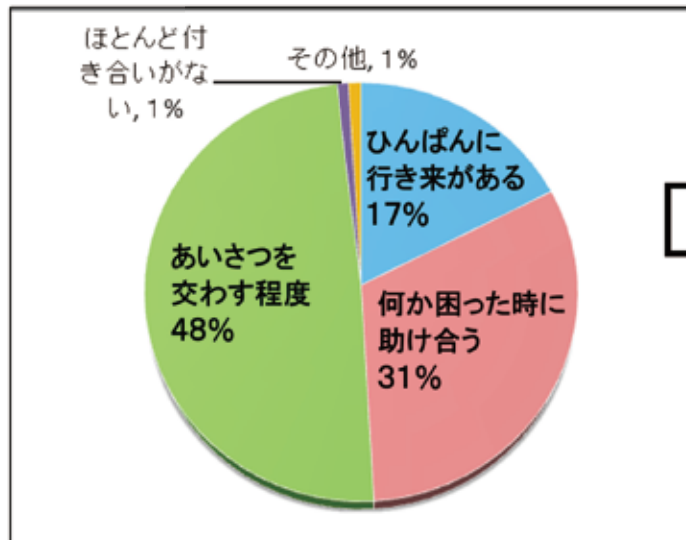
この計画の指針を作成するために地区内の全戸を対象に「福祉のまちづくりアンケート」を実施しました。ご協力いただきありがとうございました。このアンケート結果をもとに、のべ26名のメンバーで計4回の懇談会を開催し、学区内の課題や今後必要と思われる取り組みを話し合ってきました。今後は、この計画の指針に地域の方々の意見を採り入れながら、実際の活動に取り組んでいきます。

みんなでめざそう！

あなたも わたしも 居場所 と 出番 があるまち 多景



Q. あなたはとなり近所の方とどのようなつきあいをしていますか。



1

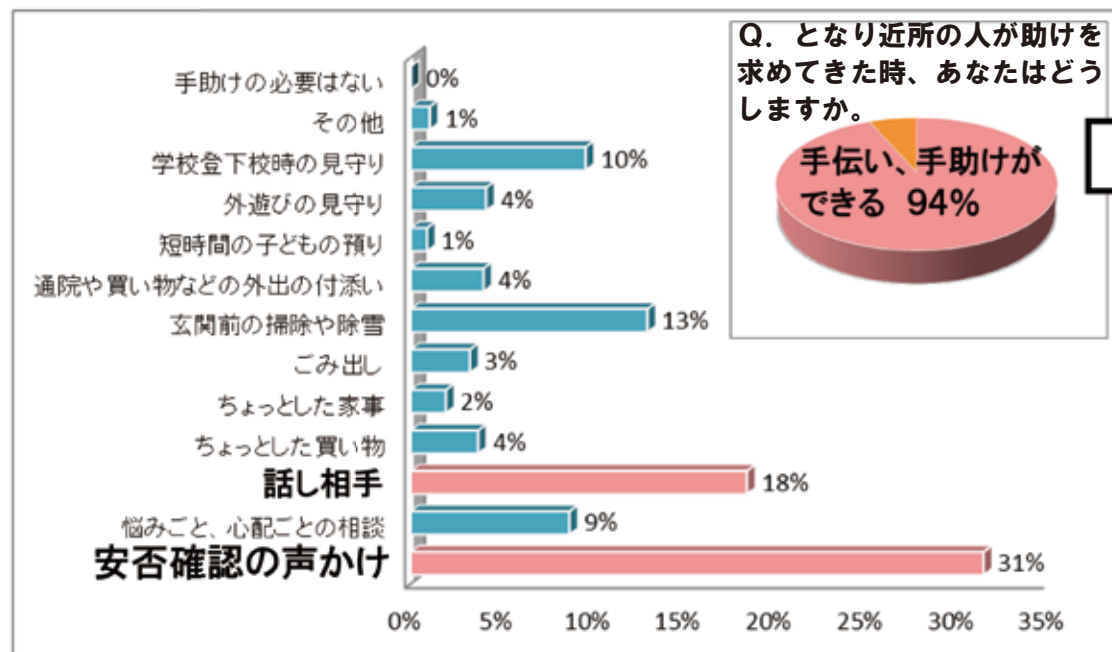
フェイス to フェイス 回覧板は手渡しで回そう

つつい遠慮しがちだけど…顔を見てこそそのコミュニケーション。
「いつも回覧板を渡す〇〇さん、最近様子がおかしいな…」
そんなことに気づき合えます。



次世代への
地域文化の伝承も
大切にしましょう！

Q. あなたの地域で、身近な地域の人による手助けが必要だと思うことは何ですか。



Q. とおり近所の人から助けを
求めてきた時、あなたは
どうしますか。

手伝い、手助けが
できる 94%

2

向こう三軒両隣 お互い様で見守り合おう

おとなりさんや、ご近所さんだからこそ、日々の見守り合いが行えます。

夜に電気は
点いているかな？



新聞や郵便物、牛乳は
たまっていないかな？



洗濯物は
取り込まれているかな？



しばらく家を空けるときは、心配されますので、できるだけお隣さんに声をかけておきましょう。

3

みんなで命の守り合い… ともに考えよう！災害時の助け合い

となり近所に災害時に助けが必要となる人はいませんか？
誰かに助けてほしいと思っている人はいませんか？
地域で共に考えていきましょう。

これらのデータは「多景地区 福祉のまちづくりアンケート」によるものです。